

特集

独自の強みをさらに磨く 世界の研究拠点をめざして

発見!! 金大おもしろスポット!
KAKUMA CAMPUS

【連載】

金沢大学の
キャリアサポート②

《CONTENTS》

- P4-5
歴史的遺産を守る文理融合型の研究拠点
フレスコ壁画研究センター
- P6-7
地理的特性を活かした環境研究
環日本海域環境研究センター
- P8
がん転移・薬剤耐性の制御をめざす
がん研究所
- P9
科学的根拠に基づいた地域の健康づくり
健康増進科学センター
- P10-11
特色ある研究がきらりと光る！
金沢大学・研究施設マップ

独自の強みをさらに磨く 世界の研究拠点をめざして

特集

既成の枠にとらわれない柔軟な精神と獨創性のもと、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」をめざし情熱を注ぐ金沢大学。専門分野の探求と共同研究拠点づくり、異分野融合や新領域の創成など、日々進化するその姿を紹介します。

金沢大学 研究・国際担当理事

長野 勇

NAGANO Isamu

特色ある研究の推進

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を大学憲章に掲げる金沢大学では、約1000人の研究者たちが、日々それぞれの研究課題に取り組んでいます。彼ら一人ひとりのためめ努力が、現代社会が抱える諸問題の解決、そして未来を担う学生・院生に対する

教育の高度化につながっていくのです。

より高度かつグローバルな研究の推進には組織的な取り組みが不可欠です。本学では、文部科学省の共同研究拠点として認定を受けたがん研究所や、アジア各地を研究フィールドとする環日本海域環境研究センターなどの多様な研究施設を置き、研究者間の連携を促進する体制を構築しています。

2008年からは、人間社会・理工・医薬保健の3研究域それぞれの特性を活かした研究を推進する「研究域附属センター」の設置が進められてきました。

2010年10月に開設した理工研究域のバイオAFM[※]先端研究センターを皮切りに、本学が有する「強み」をさらに強めるための研究拠点が順次誕生してまいります。これら研究域附属センターによって挙げられる成果によって、本学における研究活動が強く特徴づけられることが期待されています。

研究力アップのための支援

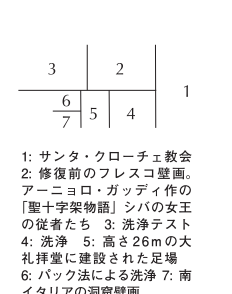
本学では、将来において世界的レベルに成長し得る可能性のある研究を「重点研究プログラム」として支援しています。これはフロンティアサイエンス機構による審査を経て採択されるもので、2007年から5つのプログラムに対して本学の人材・資金・スペースなどの資源を重点的に投入しています。これら重点研究プログラムは、充実し

た教育研究の実施や若手研究者の育成をとおして、将来的には新たな学問領域や研究機関として定着することを目的としています。

研究は研究のみで終わることなく、社会へと還元されなければなりません。2008年のイノベーション創成センター設置により、本学の産学官連携体制は確実に強化されました。立ち上げからの3年間で、企業との共同研究や技術移転の件数は約15%増加しています。

これらをはじめとする研究支援は、研究者一人ひとりの意識改革とレベルアップを促すためのものです。大学が有する研究力とは研究者個々の力の結集に他なりません。彼らが持つ力をまとめ上げ、組織的に運用することで、「社会のための大学」としての責任と役割が果たされ、「アジアにおける卓越した研究拠点」という目標が実現されるのです。

※原子間力顕微鏡の略語。



1: サンタ・クローチェ教会
2: 修復前のフレスコ壁画、
アーニョロ・ガッディ作の
「聖十字架物語」シバの女王
の従者たち 3: 洗浄テスト
4: 洗浄 5: 高さ26mの大
礼拝堂に建設された足場
6: バック法による洗浄 7: 南
イタリアの洞窟壁画



歴史的遺産を守る文理融合型の研究拠点 人間社会研究域 フレスコ壁画研究 センター

本学が6年間にわたり取り組んできた、イタリアのサンタ・クローチェ教会での壁画修復プロジェクト。その実績が評価され、2010年5月、新たな国際共同プロジェクトを担う研究拠点として「フレスコ壁画研究センター」が誕生しました。

病んでいるイタリアの壁画

歴史的遺産の宝庫といわれるイタリアには、中世からルネサンスにかけて描かれたフレスコ壁画^①が無数に現存しています。しかし長い歴史を経て、傷みが限界に達しているものも少なくありません。美術分野から評価が高い作品は大企業がスポンサーとなり手厚い保護を受けますが、多くは文化的・歴史的価値に関わらず放置されています。イタリア美術史を専門とする宮下孝晴教授は、長年にわたるイタリアの現地調査で、この危機的状況を幾度となく目にしてきました。

「聖十字架物語」の修復と復元

2005年4月、フィレンツェに建つサンタ・クローチェ教会の大礼拝堂にある、高さ26mを超える壁画の修復が始ま

壁画の凹凸や蛍光X線による顔料の組成分析が行われ、十数人の修復士たちが洗浄と修復を実施しました。また、その分析データが随時、金沢大学に送られ、壁画の一部を角間キャンパス内の壁面に復元するプロジェクトも同時にスタート。壁画が描かれた当初の姿を原寸大で再現することにより、何人の絵師がどれだけの時間をかけて制作したかなど、制作プロセスを読み解くことができ、大きな成果を収めました。

研究センターの開設と新プロジェクトの始動

「聖十字架物語」の修復は日本・イタリア両国で高い評価を受け、その実績により新たなプロジェクトが動き始めました。フィレンツェ修復研究所と共同でその任務に当たるのが、本学に新たに開設した「フレスコ壁画研究センター」です。南イタリアに点在する中世の洞窟壁画群の診断調査を行うとともに、3Dスキャンデータを保存・公開するデジタルアーカイブ化をめざします。

センターには宮下先生をはじめ、壁画の科学的分析や技法解明のために理系・芸術系の専門家が集結。2010年9月には約20の洞窟教会で予備調査を実施し、その内2つを最初の調査対象に決定しました。金沢大学の文理融合を体現する研究施設の行く末に注目が集まります。

※壁に塗った漆喰が生乾きの間に、水だけで溶いた顔料で描かれる壁画。耐久性に優れるが、漆喰が乾くまでの短時間しか彩色できないため高度な技術が求められる。代表的なものにミケランジェロの「最後の審判」(ローマのシステイナ礼拝堂)がある。

りました。14世紀末に描かれ、フレスコ画法を研究する上で極めて重要な意味を持つアーニョロ・ガッディ作の「聖十字架物語」。金沢大学とイタリア国立フィレンツェ修復研究所の連携により進められたこの修復プロジェクトを統括したのが宮下先生です。

宮下先生はイタリア美術史の専門的観点から、修復の対象に「聖十字架物語」を選定、その歴史的価値の保存に努めました。例えばミロのビーナスに両腕を付けた、モナリザのヒビ割れを全て消してしまうとその魅力は損なわれてしまいます。完成した当時の姿に戻すのではなく、歴史という要因を大切にしながら、作品の歴史的価値を後世に伝えていくことが修復の目的です。そのためには美術史に精通した専門家による知識と詳細な調査分析が欠かせないのです。

調査では最新の科学機器を駆使して、



人間社会研究域歴史言語文化学系
フレスコ壁画研究センター長
宮下 孝晴 教授

「聖十字架物語」の修復は、美術品修復のために国立大学が初めて取り組んだ国際共同プロジェクトです。本学の国際貢献としての意義に加え、角間キャンパスでの復元に多くの学生が携わったことで、教育の意義を持たせることにも成功した貴重なプロジェクトだったと伺います。

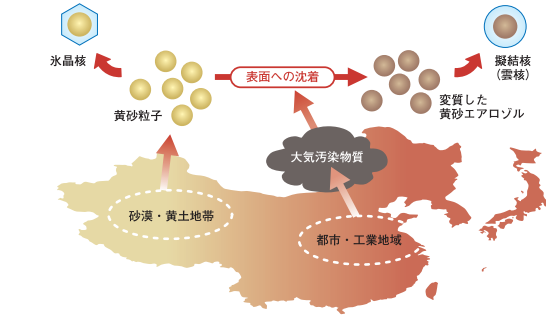
フレスコ壁画研究センターで進行中の南イタリアの診断調査においても、日本の科学技術と本学の人的資源による国際貢献を果たすとともに、インターネットで現地と大学を結んでリアルタイム講義を構築しており、その教育効果に期待しています。

Keyperson's Voice



南イタリアの洞窟群

【黄砂粒子の輸送中における硫酸化物の沈着・酸化機構の解明イメージ図】



日本海域の環境は、日本海を流れる海流と、上空を吹く偏西風に大きな影響を受けます。プログラムでは、中国大陸沿岸の工業地帯で発生する大気汚染物質と、偏西風に乗って国境を越えて運ばれる黄砂がもたらす影響について研究を進めており、本学フロンティアサイエンス機構の重点研究プログラムに採択されました。「黄砂が中国やモンゴルの乾燥地帯で発生し、偏西風によって各国に飛来することはよく知られていますが、近年、人体に影響を与える大気汚染物質を連ねていることが分かってきました」と述べているのが分かってきました。これは、偏西風に乗って国境を越えて運ばれる黄砂がもたらす影響について研究を進めており、本学フロンティアサイエンス機構の重点研究プログラムに採択されました。「黄砂が中国やモンゴルの乾燥地帯で発生し、偏西風によって各国に飛来することはよく知られていますが、近年、人体に影響を与える大気汚染物質を連ねていることが分かってきました」と述べているのが分かってきました。これは、偏西風に乗って国境を越えて運ばれる黄砂がもたらす影響について研究を進めており、本学フロンティアサイエンス機構の重点研究プログラムに採択されました。

Keyperson's Voice



フロンティアサイエンス機構 岩坂 泰信 特任教授

日本海は古くから人・物が行き交う言わば「通り道」でした。この日本海を大気科学や大気環境学の視点から捉え、それ以上の重要な役割が見えてきます。それは周辺地域の気候を左右する海流と偏西風です。日本列島はこの海流と偏西風によって世界でもまれに見る水の豊かな地域となりましたが、近年では逆に大陸からの汚染物質に晒されるようになってきました。特に黄砂は日本海域各国が直面する深刻な課題であり、そのメカニズムの解明に取り組んでいきたいと考えています。

るといいます。「国を超えた環境保全のため、黄砂の詳細な研究が求められています。これに応えるため、私たちは世界でも類を見ない試みに着手しました。現在、センターが取り組んでいるのは、「バイオエアロゾル」と呼ばれる生物由来の浮遊粒子状物質が付着した黄砂を採取するための気球の開発。既に予備観測を実施しており、能登半島では、里山里海自然学校・臨海実験施設に加えて能登大気環境観測施設（輪島市）を観測地として統合的に活用。「能登スノーパルサイト」と名付けられ、世界の黄砂研究者が集う観測拠点として機能し始めています。 ※1 カンボジアのアngkor遺跡区域における環境破壊・環境汚染の現状と影響評価 (Environment Research Development in Angkor, Cambodia, 略称: ERDA) ※2 世界最高水準の研究教育拠点の形成と人材育成を目的として、2002年度から実施された文部科学省の助成事業。



自由気球による粒子の直接採集 (中国・敦煌市)

環日本海域環境研究センター

地理的特性を活かした環境研究

世界で最も環境変化が著しいといわれる東アジア。閉鎖的な地形条件にある日本海に突き出た能登半島は、その観測・研究において極めて重要な場所です。本学の環日本海域環境研究センターは、その地理的特性を活かした環境研究を推進しています。



カンボジアアngkor遺跡での環境調査



気象観測装置 (カンボジア)

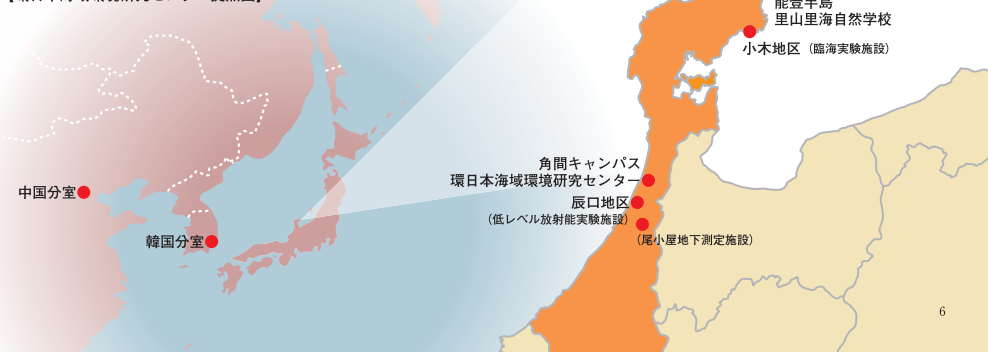
アジア全域が研究フィールド

旧理学部・工学部の環境分野の研究者が参加して2002年に発足した自然計測応用研究センターを母体に、07年に誕生した環日本海域環境研究センター。「自然計測」環境情報」地域研究の3分野から日本海域の環境問題に対して多角的なアプローチを行っています。センターの研究フィールドはアジア全域に広がります。自然計測応用研究センター時代から、中国、台湾、タイ、ベトナム、オーストラリアなどを舞台に、多岐にわたる学術調査や国際共同研究を実施。カンボジアでは塚脇真二教授を中心に、世界遺産であるアngkor遺跡群の環境調査と改善策の提言を行うERDA計画を主導、本学の「知」を活用したさまざまな国際貢献事業を展開しています。

黄砂研究の最前線を走る

金沢大学21世紀COE「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」(2002-2006年)の終了後、環日本海域環境研究センターはその発展的研究として、「環日本海域に見る土地・海・風の環」プログラムを展開しています。

【環日本海域環境研究センター拠点図】



環日本海域から宇宙へ！ウロコの宇宙実験で骨量減少の謎に迫る



環日本海域環境研究センター 鈴木 信雄 准教授

2010年5月、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」で実施された、金魚のウロコを使った「Fish Scales」(魚鱗)と呼ばれる実験。鈴木信雄准教授は、JAXA・金沢大学・東京医科歯科大学などによる連携チームの代表研究者としてリードしました。



金魚のウロコを使った「Fish Scales」

従来から、宇宙空間に滞在すると骨量が減少することが知られていました。これは、カルシウムを貯める「骨芽細胞」の働きが低下し、骨からカルシウムを奪う「破骨細胞」が活性化することが原因と考えられています。その詳しいメカニズムはまだ解明されていません。

実験では、骨同様にこれらの細胞を持つウロコを滅菌処理し、低温で日本からNASAに輸送。スペースシャトル(アトランティス)により国際宇宙ステーションに運び、微少重力環境で約4日間培養しました。対照用に、宇宙空間で遠心機を回して人工的に作り出した重力環境や地上でも同様の処理を行いました。これらのサンプルは地球に戻され、現在、細胞活性の測定や骨代謝に関わる遺伝子の発現解析、さらに骨粗鬆症の特効薬として注目される新規化合物の効果解析などが進められています。これらの実験結果から、宇宙での長期滞在や骨粗鬆症の治療が可能になる、新たな成果が得られることが期待されています。本学からまた一つ、世界レベルの研究が生まれようとしているのです。



ウロコのサンプル処理を行う野口宇宙飛行士 (提供: JAXA)



がんの転移・薬剤耐性の制御をめざす がん研究所

40年以上にわたり「がん」の研究に取り組んできた金沢大学がん研究所。がんの転移・薬剤耐性に関するメカニズムの解明や新たな治療法開発などの研究成果を挙げています。

がん研究所では「がん幹細胞研究」に加え、その周辺細胞を対象とする「がん微小環境研究」、がん細胞を制御するたんぱく質の発見をめざす「がん分子標的探索」、研究成果を治療法・治療薬の開発へとつなげる「がん分子標的医療開発」の4つのプログラムを展開。世界を牽引する研究が行われています。

新たながん治療法の開発

世界をリードする「がん幹細胞」研究
日本人の死因の約3割を占めるといわれ、WHOの報告でも世界の死因のトップに挙げられるようになった「がん」。その撲滅へ向け、がん研究所では「がん幹細胞」をターゲットとした転移・薬剤耐性の制御に関する研究を進めています。
「幹細胞」とは分化・複製の機能を持った細胞のこと。がんの発生や転移・再発にはがん幹細胞が深く関わっていると考えられ、そのメカニズムの解明はがん医療の向上に直結するといわれています。

「研究はだれも答えを知らない未知の世界。だれよりも早く新しい地平を切り開き、がん患者さんの治療に貢献したい」と語るのは、「がん幹細胞研究プログラム」で遺伝子・染色体構築の研究を行う仲一仁准教授。平尾敦教授を代表とするグループにおいて、慢性骨髄性白血病の治療抵抗性原因分子を世界で初めて発見しました。これは、白血病幹細胞が持つ薬剤耐性が、DNAに結合する「転写因子」と呼ばれる特定のたんぱく質によって引き起こされるメカニズムを解明したことで。この成果は、新たな白血病治療薬開発の鍵となるものとして高く評価されています。「本学のがん研究所は、「転移・薬剤耐性の制御」という明確な目標があるため、

研究者間にとまどまりがあり、スムーズな連携を実現しています。これはほかの研究機関にはない特徴だと思っています。
がん研究所では強力な連携体制によって、このほかにも肺がんの再発を防ぐ新たな治療法を開発するなど多大な成果を挙げています。

Keyperson's Voice



がん研究所長
向田 直史 教授

がん研究所からは世界レベルの研究成果がいくつも生まれています。私自身も10年以上前に論文が英科学誌「Nature」に掲載されたことがありますが、そういった成果につながる研究は数年に1回あるかないかのこと。その瞬間に出会う喜びが地道な研究を続ける原動力なのです。
本研究所は2010年4月に角間キャンパスへ移転し、学域・学類を越えた連携をよりいっそう深められるようになりました。遺伝子に関する膨大な量の情報処理やナノレベルでの分子測定などを工学や物理学の研究者と効率的に行うことで、新たな研究成果が生まれることが期待されています。



文部科学省の共同利用・共同研究拠点

金沢大学がん研究所は、文部科学省が推進する「平成22年度共同利用・共同研究拠点」のがんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点として認定を受けました。がん研究所は国公私立大学の研究者が集う場となり、学術研究の発展へのさらなる貢献に期待が集まっています。
これを受け、がん研究所は2011年度に「がん進展制御研究所」へと名称変更を準備中であり、転移・薬剤耐性の克服をめざす研究拠点として新たな飛躍を遂げます。

〔4つのプログラム〕

- がん幹細胞研究プログラム
- がん微小環境研究プログラム
- がん分子標的探索プログラム
- がん分子標的医療開発プログラム

〔共同利用施設〕

- ヒトがん組織バンク
- マウス発がん組織バンク
- ヒトがん細胞バンク
- 前臨床実験施設
- 臨床試験施設（I相・II相）

科学的根拠に基づいた地域の健康づくり

医薬保健研究域附属

健康増進科学センター

健康を維持・増進するための科学的根拠に基づいた理論と方法「EBW」(Evidence Based Wellness)の確立という、新たな学問領域での研究に取り組む健康増進科学センター。人々の健康寿命（心身共に健康で自立して暮らすことのできる期間）を伸ばすことを目的としています。



わりで健康相談や各種身体測定を実施。その場で結果を分析し、丁寧に説明やアドバイスを行います。週に1回は体操教室を開き、科学的に効果が実証されている速歩法などを紹介しています。
「地域ぐるみでの健康増進に向けて、人材育成にも取り組んでいます」と語るのは西澤知江特任助教。養成講座を修了した「保健室サポーター」は現在8名。大学生から80代までさまざまな年代の方々が、健康増進活動だけでなく保健室のPRに協力。「地域との結びつきを実感しています。健康増進を掲げた交流拠点として保健室の認知度をさらに高めたいですね。」

健康を科学する4部門

「健康であること」は誰もが抱く共通の願い。そのため、私たちは健康食品やサプリメントを摂取したり、フィットネスやジョギングなどの運動に取り組みんだりします。肉体ばかりでなく、精神の健康を願って「癒し」を求めることもあります。しかし、これらの保健行動の多くは科学的根拠に基づいていないとは言えません。そこで必要とされるのが、健康の度合いを正しく測定・評価し、それを維持・増進していくための科学的な手法です。健康増進科学センターでは、「健康モニタリング」「健康コンサルティング」(統括)「学際協力」の4部門で、その確立に向けた取り組みを進めています。

健康状態を「みる」ための研究

健康増進の第一歩は、自身の健康状態を正確に把握すること。すなわち「健康度の評価」です。その研究を担うのが「健康モニタリング部門」。MRIなどの高度

な先進機器を用いて、皮下・内臓の脂肪量、筋肉量、骨密度、血流、脳の硬さなどを解析する手法を開発しています。「私たちは、痛みを伴わず、短時間で正確に体の中を『みる』(＝モニタリング)ための手法を研究しています。この『みる』には見・視・診・観・看などの漢字があります。これらの目的を持って、科学的に健康の度合いを『みる』ための方法を追求しています」と語るのはモニタリング部門長の宮地利明教授。さらにそこで得られた成果を市販の簡易測定器にフィードバックしてそれらの信頼性を検証するとともに、新たな健康指標づくりも進めています。

地域に開かれた健康増進拠点

健康の維持・増進に向けた支援方法を研究する「健康コンサルティング部門」では、その実践拠点として「石引よろず保健室」を開設しています。看護師、保健師、作業療法士、理学療法士らが日替



Keyperson's Voice



医薬保健研究域保健学系
健康増進科学センター
宮地 利明 教授

医薬保健研究域に附属する当センターは、多分野の教員が所属する保健学系を主体としており、学際的な研究を進めるのに適しています。そのため、健康増進科学というまったく新しい学問を確立するには理想的な環境と言えます。このセンターの活動をとおして、保健学の進展に貢献したいです。

「健康通帳」で健康管理

健康情報の処理・解析・管理を実践するための基盤づくりを行う「統括部門」では、個人の健康情報を生涯にわたって一元的に管理するデータベースの構築を進めています。健康状態の推移が全て記録されたそれは言わば「健康通帳」。将来的には医療・検査機関ともネットワークで結ばれ、適切な診療に向けた健康情報の共有が図られる構想です。

特色ある研究がきらりと光る！

金沢大学・研究施設マップ

総合大学の利点を最大限に活かし、研究環境と支援システムを整備。より高度にグローバルに、今日も多くの研究者が研究活動に取り組んでいます。



角間キャンパス

1 地域連携推進センター
金沢大学の「社会貢献」事業の窓口

公開講座や講演会などを実施して生涯学習を支援。また、プロジェクトをとおして地域の活性化に取り組む「地域に根ざした大学」として地域社会との連携を推進しています。



能登オペレーティング・ユニットの拠点「能登学舎」

2 フレスコ壁画研究センター

↓ P.45に関連記事

11 インベリション創成センター
産学官連携的財産活動の中核

研究成果の社会還元と教育研究の活性化を目的として、大学の持つ研究シーズと企業等のニーズのマッチングによる共同研究などの推進、知的財産の発掘・活用、ベンチャー起業化・事業化に対する支援などを行っています。

10 インキュベーション施設
10 ベンチャー・ビジネスラボラトリー

12 総合メディア基盤センター
先進的で安全な環境を提供

先端的で安全・安心な情報基盤整備、ネットワークを活用した情報教育、アカンサスを活用した学術情報の利活用等を基盤とした取り組みを推進しています。

13 留学生センター
留学生交流を推進

外国人留学生や海外留学を希望する学生に、必要な教育や指導助言等を行っています。外国人留学生が、研究活動に必要な日本語能力を習得するための日本語コースや、異文化適応を促進するための伝統芸能体験や企業見学、地域や日本人学生との交流活動もっています。

14 外国語教育研究センター
学習支援と国際社会で通用する人材を育成

外国語教育の企画、学生の外国語学習を支援する環境整備、外国語教育・異文化理解教育に関する

研究を3本柱に、本学の外国語教育の充実と発展をめざした事業を展開。語学相談や学生ニーズを把握する取り組みを行っています。

15 大学教育開発・支援センター
教員と学生のニーズに応える

学生の学習意欲を引き出し、高い学習成果に導く教育内容と方法の改善や学習・学生支援について研究開発を行っています。その成果は、教員向けの研究会やセミナーで発信しています。

ランチをとりながら気軽に受講「角間フロンティアセミナー」
学習上のアドバイスや、より良い学生生活を送るために必要な知恵、専門的なテーマについての入門的な話を、昼休みに聴くことができます。来年度の大学にはない気軽なミニ講座です。

19 金沢先進医学センター
産学連携で誕生した医療研究機関

2010年7月、金沢大学附属病院の敷地内に開設。人体組織の機能を画像診断するPET検査の設備をもつ世界水準の検査機関です。現在はがんの早期発見を目的とした検査を実施。検査用薬剤の開発も行っており、将来はアルツハイマーの発症時

3 がん研究所

↓ P.40に関連記事

4 子どものこころの発達研究センター

発達障害の中でも主に自閉症スベクトラム障害について、基礎研究から臨床治療・支援までの幅広い領域を専門とする研究者が所属。診療を担う専門家の養成や、子どもと家族への支援情報提供ネットワークづくりを行っています。

5 健康増進科学センター

↓ P.60に関連記事

「自閉症サイエンスカフェ」
毎月22日、金沢市内のしいぎ迎賓館や旧広敷庁舎で開催。悩みを抱えた保護者や研究に興味をもつ一般の方を対象に、専門家や研究者と気軽に話せる場を無料で提供しています。

6 環日本海域環境研究センター

↓ P.67に関連記事

7 学際科学実験センター

- 7-1 動物実験研究施設
- 7-2 動物実験研究施設角間分室
- 7-3 遺伝子研究施設
- 7-4 アイソトープ総合研究施設
- 7-5 アイソトープ理工系研究施設
- 7-6 機器分析研究施設

8 バイオAFM先端研究センター

↓ P.69に関連記事

9 環境保全センター

金沢大学の環境教育研究の中核。全学で取り組む環境保全の教育の推進、環境保全活動の一環である実験系廃液の収集・分析・処理を業務として行っています。また、学生や教職員にボランティアを募り、「大学通学路クリーン作戦」を主催しています。



環境保全センター

10 フロンティアサイエンス機構

↓ P.69に関連記事

宝町・鶴間キャンパス



■ 地図上の A ~ G は「発見!!金大おもしろスポット!!」(P.20)の位置です。

「男女がともに輝ける大学」をめざして 金沢大学男女共同参画

CAREER DESIGN

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー (CDL) は、「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」プロジェクトの一環として立ち上げられました。金沢大学における女性研究者支援のための環境整備、次世代女性研究者を魅了するための研究制度の構築、その他卓越した女性研究者を育成するための啓発・広報活動を行うことで、男女共同参画社会の実現に寄与することを目的としています。


金沢大学では、男女共同参画推進委員会を設置し、男女共同参画に向けた意識改革や女性教職員の積極的な登用、雇用環境・制度の整備を行うとともに、フォーラムや講演会の開催、ジェンダー関連科目の開講、授乳室の設置などに取り組んでまいりました。

また、男性職員の育児参加のための休暇の新設、育児短時間制度などを導入し、仕事と子育ての両立支援制度の充実に努めています。

さらに、2008年度には、「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」プロジェクトが文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択され、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを中心に女性も生き生きと活躍できる男女共同参画支援モデルの開発を行ってまいりました。

2010年8月、石川労働局から「子育てに優しい企業」の認定を受けました。


2005年度に仕事と子育ての両立支援の一般事業主行動計画を策定し、育児短時間勤務制度の導入や男性職員の育児休業取得などにより、目標を達成できたことが評価されたものです。



CDLの4つの柱となる取り組み

Activity 1
人材サロンWIL (women-in-link)

金沢大学人材バンクでは、女性研究者をめぐる環境整備の一環として、研究補助員の募集と派遣などを行い、人と人を結びつけています。サロンでは、各種セミナーやキャリアカウンセリングなどを行います。



人材バンクホームページQRコード

Activity 2
働きやすい職場環境へ

角間の里山自然学校と連携し、里山KIDS ROOMを開設しました。子育て中の研究者が、研究を中断することのないように支援するとともに、外部資金を獲得できる自立した女性研究者の増加をめざします。



里山で見つけた生物を顕微鏡で観察中

Activity 3
広報・啓発活動

金沢大学といしかわシティカレッジで、ジェンダーとキャリアデザインについての講義を実施します。講演会・研究会・イベントを開くほか、意識調査や女子中高生を主な対象とした理系進路選択のためのサポートを行います。



女性研究者の研究紹介写真展「Beauty in Science, Technology and Engineering」

Activity 4
多様なキャリアパスの創出

研究パートナー制度では、育児・介護に多忙な研究者に対し、研究パートナーを派遣し、研究の補助を行います。Skilled Specialist (SS) では、博士学位取得者を対象に、従来のカテゴリーに入らない安定的な研究者のポストを試行します。

金沢大学男女共同参画
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_jinji/danjo/top.html
男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp>

華麗に情熱的に！ 女性研究者 シリーズ ①

The story of my research

がんの発生メカニズムを探る 基礎研究に尽力

がん研究所 助教
大島 浩子
OSHIMA Hiroko



PROFILE
山口県出身。熊本大学薬学部卒業。
趣味は推理小説を読むこと。アガサ・クリスティの本は全て持っているという入れ込みぶり。高校は広島、就職は茨城に京都と、日本各地を回ってきただけに旅行も好き。

薬学部を卒業し、製薬会社に就職が研究には縁がなかったが、製薬会社の研究所で抗がん剤開発の基礎研究に携わってからの研究一筋だ。現在、遺伝子操作したマウスを用いて消化器がんの発生メカニズムを研究している。

「がん研究所内の各研究室がそれぞれの内容を共有し、連携して研究に臨めるのが金沢大学のいいところ」という。時間の経過に伴うマウスの変化を観察するため、土曜日や日曜日も研究所に出る。毎日忙しいが、家事などの主婦業も欠かさない。研究所内の数少ない女性研究者だが、「女性というよりも、それぞれのパーソナリティの方が大事かな。自分の研究が応用され、治療・予防のために役に立って欲しい」と笑う。



お星登中のマウス：
大島先生お気に入りの1枚

宇宙の分野に興味を持ち始めたのは中学生のころ。父親が宇宙好きで、その影響という。当時、宇宙関係のサークルにも入っていた。それから漠然と宇宙のことを勉強したいと思って大学に進み、大学院や研究所などを経て、現在、ビッグバンともかわるニュートリノ(物質を構成する最小単位・素粒子のひとつ)の質量に関する研究をしている。

着任して1年目、所属する理論物理学研究室には教員と学生合わせて約30人がいる。それぞれが少しずつ異なったテーマを扱っているものの、互いに助言をしたり、時には議論を交わしたりする。「金沢大学は人があたたかい。教育も研究も大切にする姿勢も嬉しい。」研究所、他大学からの移動を経て、「ようやく落ち着いた。じっくりと研究を進めていきたい」と話す。

ポストク時代を過ごしたヘルシンキの街

「がん研究がおもしろい」と話す。本学のがん研究所は2010年4月に宝町・鶴間キャンパスから角間キャンパスに移転し、実験動物研究施設と同じ建物内となった。施設が充実し、複数の研究室が高度な実験機器を共同で使え

る。「がん研究所内の各研究室がそれぞれの内容を共有し、連携して研究に臨めるのが金沢大学のいいところ」という。時間の経過に伴うマウスの変化を観察するため、土曜日や日曜日も研究所に出る。毎日忙しいが、家事などの主婦業も欠かさない。研究所内の数少ない女性研究者だが、「女性というよりも、それぞれのパーソナリティの方が大事かな。自分の研究が応用され、治療・予防のために役に立って欲しい」と笑う。



研究室の院生たちと

新理論でニュートリノ質量と 初期宇宙との結びつきを解く

理工研究域 数物科学系 助教
青木 真由美
AOKI Mayumi



PROFILE
東京都出身。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了。
学生時代、サークルやスタジオでジャズダンスを楽しんだ。踊ったりミュージカルを観たりするのが好き。時間ができればまたダンスを習いたい今日このごろ。



西 晴香さん
経済学部4年

就活GO!
学生インタビュー

就活スケジュールが
びっしりと書かれた手帳

■ 貴重な自己分析の期間

就職活動は自分自身を知るよい機会でした。3年の10月から数ヶ月の間に受けた、就職支援室の個別相談や、友人や先輩からのアドバイスによって、それまで考えたことなかった「私」を集中的に知ることができました。

■ 留学経験を生かして

在学中に1年間の留学を経験しました。このため卒業時期は遅れましたが、それ以上のメリットは十分あったと感じています。語学や異文化への理解はもちろんですが「自ら目的を持ってチャレンジした姿勢」が企業での評価につながります。

■ 情報収集がカギ

首都圏の企業への就職を希望していましたが、費用がかかるため頻繁に出向くことはできません。金沢にいながら「新しく信頼できる情報」をいかに速く得るかを意識しました。就職支援室では業界紙を頻りにチェック。大学が開催するガイダンスや企業説明会、就職活動を経験した先輩達からの情報などに常にアンテナを張っていました。



総合電機機器メーカーに
就職内定

もちろんキャリア
ラーニングバスツアー
にも参加しました。

西さん流！就活のポイント

● 情報収集する企業の業種をあえて広くしていました。自己分析や就職活動を進める中で、自分を活かすことのできる新たな道を見つけたとき、すぐに方向転換できるようにしておくためです。「自分が役に立つ」業界は意外なところにあるかもしれません。実際、私も当初の希望の業種と異なる企業を選びました。

ここがスゴイ！ 金大の就職支援
キャリアラーニングバスツアー

2009年度に初めて開催し、3泊4日で総勢34名が参加しました。初日は金沢大学の活動の拠点となる東京での活動の拠点となる金沢大学東京事務所を見学した後、日本たばこ産業株式会社、沖電気工業株式会社、楽天株式会社を訪ねる「企業訪問コース」と、法務省、厚生労働省、文部科学省を訪ねる「霞が関訪問コース」に分かれ、各所の職場、見学に出発しました。



貸切バスでの移動中

見学終了後、宿舎では同行している就職活動を終えた先輩から遠方からの活動にはなるが、しつかり戦略を



企業見学

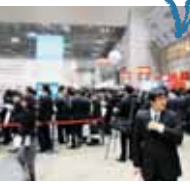
加者は、オフィスの雰囲気を感じながら、若手スタッフやOB・OGに率直な質問を投げかけるなど、説明会やパンフレットでは得られない現場の情報を得ていました。

立てて臨めば、東京での就職活動も有利に進められるなどの体験談が語られました。2日目は、東京ビッグサイトで合同企業説明会に参加。新卒者採用枠の縮小が報じられる中、国内最大規模の就職イベントに全国から3万人を超える学生が参加。入場までに1時間以上を要する長蛇の列ができていました。バスツアーの参加者は主催者側の配慮で、開門と同時に入場することができ、お目当ての企業



厚生労働省でのOB-OG懇談会

説明に一番乗りすることができました。参加者は、業界を広く研究するの重要性と企業へのアプローチのしかたを学んだようでした。参加した学生からは、きめ細かく質問に答えてもらっていた「就職活動の足がかりを掴むことができ、モチベーションが上がった」「ツアーを通じて就職活動を共にする仲間ができた」といった前向きな感想が聞かれました。



合同企業説明会

就職支援室

〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL : (076) 264-5265
E-mail : 在学生 syukatsu@adm.kanazawa-u.ac.jp
その他 syusidou@adm.kanazawa-u.ac.jp
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/work/
利用時間：平日9:00~17:00(資料室は21:00まで)



連載 金沢大学の
キャリアサポート ② 就職活動キックオフ!

Career support



経験豊かなプロのコウンセラーがきめ細かく指導

就職活動は3年の秋から本格的に始まります。今回は実際の活動スケジュールに沿って、個別相談からガイダンスやイベントなど、具体的な支援メニューを紹介。金沢大学は、一人ひとりをきめ細かくサポートします。

学内ガイダンスと
個別相談

3年後期の就職支援はガイダンスと個別相談の2本立てで、学生の就職活動に即した実践的な内容をコーディネートして企画・実施しています。

例えば「就職ガイダンス」では、就職活動スケジュールや受講生が卒業する時点での就職状況予測、自己分析のポイント、企業が求める人材などについて、就職活動を始めするための基本を説明します。当日、授業等で参加できない学生に対しては後からガイダンスの内容を視聴できるDVD媒体など

就職活動の始め方から
実践的に指導

就職サイトの活用方法や、エントリーシートの書き方、企業説明会の効果的な回り方や面接対策など、具体的な就職活動の進め方について指導します。「各企業は学生のどのような点を評価するのか」「金沢大学の学生は地元企業、大手企業でそれぞれどのような評価をされるか」といった具体的な質問など、金大生の特性に沿った内容を網羅しています。

業界分野別ガイダンス

業界・分野別ガイダンスは、各業界を代表する企業の方が講師で



業界分野別ガイダンス

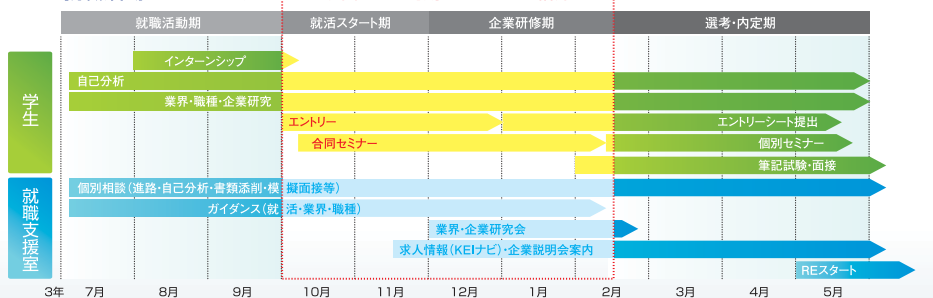
独自のユニークな
ガイダンス

学生たちの要望を受けて2009年度から実施している「女子学生のための身だしなみ講座」。プロの講師を招き、服装、髪型、メイクアップなどの身だしなみから、姿勢、立ち居振るまい、お辞儀や挨拶のプロの活動に役立つだけでなく、ビジネスパーソンとしても必要なスキルを身につけることができます。



女子学生のための身だしなみ講座

就職活動スケジュール



相手の気持ちに寄り添う B・B・S会

現在、男子7人、女子19人が所属する金沢大学B・B・S会。BBSとは「Big Brother & Sisters movement」の頭文字を取った略称で、非行をはじめ、社会適応に悩む少年たちに、兄や姉のような身近な存在として接しながら、健全に成長していくのを援助するボランティアのことだ。全国におよそ500の関連団体があり、金沢大学B・B・S会は、金沢市BBS連盟と協力し活動している。

少年たちとの和菓子やオリジナルバック作り、スポーツ交流会などを企画。また、BBS活動について知識を深めるため、全国各地で行われているセミナーや研修会に参加し、他県のメンバーと親睦を深めることも大切にしている。

B・B・S会代表の清水綾子さん（法学類

3年）は、寮の先輩から薦められて入会した。「保護観察官や社会人ボランティアなど幅広い人達と触れ合えるのが魅力。少年たちの笑顔に出会うと、活動をして良かったと感じます」。初対面の少年たちとは打ち解けるまでに時間がかかるが、流行りの会話などをして、常に自然体で接するように心がけているという。スポーツ交流会では、バレーボールを企画したものの、メンバーが集まらず、少人数でも出来るバドミントンや卓球などに急きょ変更したこともある。「少年たちと感動を共有し、少しでも悩みを克服する手助けができれば」との一心だ。活動を通して培われる「相手の気持ちに寄り添う技術」は、社会に出てからも有用な力となるだろう。

「B・B・S会」へのお問い合わせ

- 学生部学生支援室学生相談係
TEL (076) 264-5168
FAX (076) 264-4040



クリーンキャンペーンで河川敷のゴミ拾い



スポーツ交流会後、メンバーで

サークル紹介

現在、金沢大学には、文化系サークルが43、体育系サークルが41あり、2,500名以上の学生が所属しています。
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakusei/student/club/

自分のオリジナルを大切に 茶道部

今年創部45周年を迎えた茶道部には、その歴史の中で、和敬清寂(わいげいせいじやく)を養うことが受け継がれてきた。金沢大学は、茶道を本格的に教わることができる恵まれた環境にある。金沢は、茶道文化の栄えた街であり、街中に茶道を体験できる場所がたくさんあるからだ。毎週木曜日には、裏千家の師匠に直々に指導を受けている。練習時には、白の鞆下・襟付きの服で、ジーンズは畳が傷むので着用してはいけないなど、服装のルールがあったり、風炉や炬燵(かまど)は電気ではなく炭を使うなど、本格的だ。

現在、男子8名・女子22名の部員が所属しており、茶道経験者もいれば初心者もいる。部長の佐藤真哉さん(数物科学類3年)は、未経験で入部した一人だ。日々の稽古を重ねるにつれて、毎回のように触れる日本の伝統美に魅せられ、のめり込んでいったという。

顧問である加納重義教授(理工研究域物

質化学系)からは、お茶をたてる本人自身も楽しむことが大切だと教えられた。その季節にあったテーマを決め、それに合わせて道具を選び、自分オリジナルのお茶をたてる。この過程を楽しむということだ。「形式にとらわれすぎず各個人が、自分流の茶道を楽しんでほしい」との思いを込めて部を率いる佐藤さん。部員たちからは、「和気あいあいと楽しめ、ほっとする場です」との声も聞かれる。茶道の心得を習得する場であると同時に、勉学に励む学生たちにとってのオアシスでもあるようだ。

- *1 和やかな静けさの中でお茶を楽しむという茶道の精神
- *2 茶釜を掛けて湯をわかすための道具

茶道部の活躍はここで!

- http://www.geocities.jp/kanazawa-daigaku_sadoubu/



練習風景



アジア人財育成プロジェクト「茶道体験・お茶会」

Graduate Interview 卒業生インタビュー

「聞くから話す」
落語を聞き始めたのは高校生のころ。とはいえず、将来、落語家になるなど夢にも思わなかったというまん我さん。金沢大学に入学してから、落語は聞くばかりだったが、落語研究会に入ったのは1年が過ぎようとしていたころだ。発表会を親に行って惹き込まれた。
研究会とはいくもの研究をするよりも実際に「舞台上で上げよう」という方針。入ってから3年の引退まで、年4、5回の学内発表会のほか、懇親会の余興で呼ばれたり老人ホームで慰問公演をしたりと、月1回は本番の舞台上がついていた。



落語研究会時代、引退公演でのまん我さん

市内キャリィで行われた引退公演前の1か月間は毎日夕方に集まって深夜まで練習し、終わるとみんなで飲みで繰り出した。学業にも手を抜かず、さらに合間にアルバイトという多忙ぶり。全てを一所懸命にこなした。落語は充実した学生生活の一部だった。

どうしてでも落語がやりたい!
卒業を前に、落語家になることを考え始めたが、民間企業に就職、26歳のとき、「どうしても落語がやりたい。これ以上遅くなるといけない」と思い、会社をやめ、一番好きな落語家である桂文我さん(桂楽朝)の門を叩いた。弟子入りしたいという願いはすぐには叶わなかった。断られては頼むの繰り返しだった。許されたのは季節が移り変わったころだ。そこから住み込みの内弟子生活が始まった。師匠に24時間つきまわり、休みは2年間て3日だけだった。師匠からは物言いが、振る舞いなど、全てについて、とにかくよく叱

られた。「やめろ」「帰れ」と言われたことも数知れない。師匠の言うことが理不尽と感じることもあった。しかし、年月とともにそのわけも理解できるようになった。「師匠と弟子の関係は親子の関係に似ている。赤の他人を叱ることってそんなにない。いい世界だと思ってるはず」。

人の心を揺さぶる落語を
落語家になって12年。大きな舞台もあれば、小さな舞台もあり、落語、落語の毎日だ。演目考えた後、稽古をしたりと、準備も含めると、一日中落語に関わっているといつもよいが、「好きなことをやっていると、忙しいとは思わなくて笑う」。

聞いてもらいたいのには、「人の心を揺さぶる落語だ。笑える落語がよい落語とは限らない。大笑いしていたお客さんが帰りに「いまいぢやな」と抜いていく。逆に、全く笑わなかったお客さんが「たいへん楽しかった。よかった」と言ってくれる。笑ってくれるかどうかよりも、人の心に響く落語を、いつも目標にしている。

全国の落語家の数は7、800人。毎日、公演が行われているが、「どこに行っても落語を聞くのが初めてというお客さまが必ずいる。落語の輪を広げていきたい。落語は会場、演者とお客さまで作るものだから、ぜひ生で聞いてもらいたい。近所まで行ったら聞きに来てくれませんか」と全国各地へ出かけていく。

桂まん我さんプロフィール
本名・永原淳。1971年生まれ。兵庫県出身。金沢大学工学部機械システム工学科卒業。専門は燃料電池の開発。2006年、文化庁芸術祭新人賞を受賞。

「まん我の流儀 金沢編 #04 ~桂まん我の落語を聴く会~」
日時:2010年11月28日(日)14:00~
場所:金沢21世紀美術館 シアター21

「桂まん我応援サイト」<http://www.k3.dion.ne.jp/~www920/>



落語家
桂 まん我
KATSURA Manga

金沢大学工学部を卒業後、民間企業のサラリーマンを経て、落語家になった桂まん我さん。大学時代の思い出から、落語家としての生活、今後の目標などを伺った。

「聞くから話す」
落語を聞き始めたのは高校生のころ。とはいえず、将来、落語家になるなど夢にも思わなかったというまん我さん。金沢大学に入学してから、落語は聞くばかりだったが、落語研究会に入ったのは1年が過ぎようとしていたころだ。発表会を親に行って惹き込まれた。
研究会とはいくもの研究をするよりも実際に「舞台上で上げよう」という方針。入ってから3年の引退まで、年4、5回の学内発表会のほか、懇親会の余興で呼ばれたり老人ホームで慰問公演をしたりと、月1回は本番の舞台上がついていた。

「聞くから話す」
落語を聞き始めたのは高校生のころ。とはいえず、将来、落語家になるなど夢にも思わなかったというまん我さん。金沢大学に入学してから、落語は聞くばかりだったが、落語研究会に入ったのは1年が過ぎようとしていたころだ。発表会を親に行って惹き込まれた。
研究会とはいくもの研究をするよりも実際に「舞台上で上げよう」という方針。入ってから3年の引退まで、年4、5回の学内発表会のほか、懇親会の余興で呼ばれたり老人ホームで慰問公演をしたりと、月1回は本番の舞台上がついていた。



他大学の落研メンバーと一緒に

卒業学部を超え、日本各地で交流が進む 金沢大学同窓会情報

Alumni association information

一生の友に巡り会い、生涯をかけてやりたいことを見つける。
人生において大きな意味を持つキャンパスライフ。
金沢大学ではその「大切な時間」にいつでも立ち返ることができる
多くの同窓会が活動しています。



医学部十全講堂

歴史ある医学部の 卒業生を結ぶ 医学部十全同窓会

1932年に結成された金沢医科大学十全会から、分離独立して結成された十全同窓会。現在、36支部6千900人の会員が活躍しています。

「十全」の語は、中国の経典周礼に載った「医十全ヲ以テテ上ト為ス」に由来しています。語るのには第14代会長 佐藤保氏（1960年生）。

十全同窓会は前身校からの歴史と伝統を受け継いだ同窓会です。毎年3回、「十全同窓会」を開催し、同じ学舎に相つとつた同窓生同志の手を握り、共に語り合いたいという気持ちから創刊されました。最近では、国内外で医療や教育・研究指導等の分野で活躍する会員を紹介する「十全学術行脚」の連載が18回目を迎えます。また3年毎に更新している会員名簿は、2009年に最新号を刊行。さらに毎年7月に総会、各支部単位で



金沢市近代医学史跡図

会員の紹介する「十全学術行脚」の連載が18回目を迎えます。また3年毎に更新している会員名簿は、2009年に最新号を刊行。さらに毎年7月に総会、各支部単位で

も同窓会を開催し、会員の現状や活動、事務連絡、会員人事動向、新人の紹介などを行っています。支部の中には、台湾支部やポストン支部など、海外の拠点もあり、世界を舞台に活躍する卒業生との繋がりが大切にしています。

独自の取組みとして、2006年に「金沢市近代医学史跡図」を作成。新入生のオリエンテーションのバスツアーにも活用されています。10年には、紙製の人体全身模型「キンストレイキ」の修復を記念して、ガラスケースを大学に寄贈して7月の総会で除幕式を行いました。このほか医学部創立150周年記念事業の募金活動にも協力しています。

佐藤会長は「会員相互の親睦を計り、母校の発展をはじめ、若い世代や会員全体の交流を深めていくこと、大学や地域医療をバックアップしていくことを目標に掲げ、今後も精力的な活動を行っています」と熱く語ります。



第14代会長・佐藤 保氏

Activity report

活動報告 2010.06~09

6/4 同窓会連絡協議会第9回幹事会
6/9 第687回北の都大会

7/3 医学部十全同窓会総会
7/10 北陸銀行第4回卒業生の集い

7/11 金沢工業会全国総会・富山支部総会
8/30 北國新聞グループ同窓会総会

9/4 北國銀行同窓会・北國都会・第4回総会
9/19 茶道部45周年記念会
9/19 ポート部設立60周年記念式典

9/25 同窓会東京地区合同講演会 懇親会

■ 単位同窓会支部総会
6/12 名古屋 9/25 東京
■ 法経文学部同窓会
5/29 愛知 6/13 滋賀 7/31 静岡
■ 医学部十全同窓会
8/21 高知 8/29 福井 9/15 大分

■ 理学同窓会
6/5 関東
■ 金沢工業会
6/11 新潟 7/10 福井 9/25 東京

同窓会の人的ネットワークを活用し、有意義な人生を

[金沢大学同窓会連絡協議会参加の同窓会]

- 法経文学部同窓会 TEL(076)264-1667
- 教育同窓会 TEL(076)264-5081 (学友支援室気付)
- 理学部同窓会連絡会 TEL(076)264-5081 (学友支援室気付)
- 医学部十全同窓会 TEL(076)265-2132
- 医学部保健学科 つるま同窓会 TEL(076)265-2504
- 薬学同窓会 TEL(076)260-6366
- 金沢工業会 TEL(076)264-0482
- 四高同窓会 TEL(076)262-5464 (石川四高記念文化交流館内)

金沢大学は、卒業生を大学の重要な構成員と位置付け、連絡協議会に未参加の前身校同窓会、入学・卒業同期会、学科・研究室同窓会、学寮やサークルOB・OG会等の参加を得て、より強固な全学同窓会組織(学友会)の確立をめざしています。

新たな同窓会結成などの情報がありましたら、学友支援室へご一報願います。

【事務局】金沢大学学友支援室 TEL(076)264-5081 FAX(076)234-4015
〒920-1192 石川県金沢市角間町 E-mail:gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

● 学友支援室ホームページ
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/

金沢大学基金

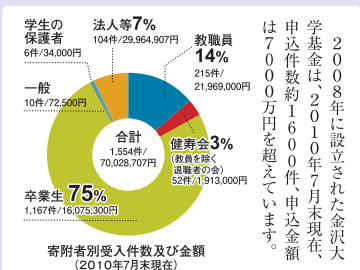
金沢大学基金は「学生を応援し、研究活動を支え、地域社会を育てる基金」です。2010年度から、その運用収益をもとに「学ぶ人」のためのサポートを開始しています。皆様の善慮がゆっくりと実を付けつつあります。

- 学生をサポート
奨学金の充実、学生へのプロジェクトの支援、留学生への支援
- 将来を担う研究活動をサポート
研究領域を超えた横断的なプロジェクト支援、若手研究者への支援、男女共同参画への支援
- 地域コミュニケーションをサポート
地域貢献活動への支援、地域資源活用と環境整備への支援、地域の伝統文化をみ直し活性化する活動への支援

24時間受付(24h)

◆ 本学に留学している外国人学生に、母国と金沢の絆の架け橋となってくれるのを願ひ、返済不要の奨学金を給付しています。今後は日本人学生にも給付を予定しています。

【事務局】金沢大学基金事務局
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL(076)264-5075
FAX(076)234-4015
E-mail: kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://www.kikin.kanazawa-u.ac.jp/kikin/>



創基150年記念事業

金沢大学のこれまでとこれからを発信
金沢大学は2012年に、その源流となる加賀藩藩校の設立(1862年)から数えて150年目の節目を迎えます。この間、金沢大学は「先魁」としての人材養成、他なる生命・存在との「共存」、革新的な知の創造を力強く進めてきました。



一般公募で集まった、総数302点の中から札幌市村上鶴芳さんの作品が選ばれ、2009年10月に開催された「第3回金沢大学ホームカミングデー」において発表されました。作品コンセプトは、金沢大学が150年の歴史から150年先の未来へ力強く飛躍するイメージで、紺色は先魁(さきかき)・緑色は共存、紫色は創造を表しています。

超未来型研究や自主企画事業を支援
教職員や学生が自ら多彩に企画する「自主企画事業」、若手研究者や学生らによる夢のある「超未来

【事務局】創基150年記念事業準備委員会
総務部総務課
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL(076)264-5111
FAX(076)234-4010
E-mail: sok150@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/kanazawa150/>

型研究「テーマ」の募集、また創基150年記念事業として行う「講演会・シンポジウム」シリーズに對し、経済支援を行っています。いずれも、金沢大学創基150年のコンセプトである「先魁 共存 創造」にかなっていることが条件です。今後も様々な企画で大学を挙げて節目の年を盛り上げていきます。

学生ボランティア(ハググループ)50%が活躍

創基150年を記念して、学内外で行われるさまざまな企画やイベントを学生ボランティアが支えています。本学の学生であれば誰でも参加できます。各種記念事業や「金沢大学創基150年史」の編纂にスタッフとして関わると、ハググループ150%としての記念事業の企画及び実施、ニュースレターの発行などパワフルに活躍しています。ボランティアは随時募集しています。

DATA NOTE

■ 交流協定

7月
がん研究所が上海 復旦大学上海がん病院と部局間交流協定を締結

フランス・オルレアン大学と大
学間交流協定を締結

サウジアラビア・イマーム大学
と大学間交流協定を締結

8月
理工学域がタイ・運輸省地方道
路局と部局間交流協定を締結

■ 受賞

7月
理工学域の石田啓教授が第3
回海洋立国推進功労者表彰を受
賞
「海洋立国日本の推進に関する特
別の功績」分野での実績が認めら
れました。



学生を指導する石田教授（右）

人間社会研究域の宮下孝晴教授
が「イタリア連帯の星」勲章を受
章

イタリア共和国から「サンタク
ローチェ教会の壁画修復プロジェ
クト」等の功績が評価されました。

↓ P.4・5 に関連記事



勲章を受け取る宮下教授（左）

9月

理工学域の小林健太准教授が
日本数学会賞建部賢弘賞特別賞
を受賞

理工学域の安藤敏夫教授が山
崎貞一賞を受賞

バイオ科学の発展に貢献する原子
間力顕微鏡を飛躍的に高速化させ
た功績が認められました。

■ 研究・教育実績

7月
がん研究所が平成22年度「共同
利用・共同研究拠点」に認定

↓ P.6 に関連記事

8月

科学技術振興機構（JST）「戦
略的創造研究推進事業」に2件
採択
CREST

理工学域・長山雅晴教授

研究課題「生理学と協働した数理
科学による皮膚疾患機構の解明」

さきがけ

フロンティアサイエンス機構・

佐藤純特任准教授

研究課題「ショウジョウバエ視
覚系における機能的な神経回路

形成機構の解明」

9月

医療保健研究域の山田正仁教授
らの研究グループが、わが国の
ヤコフ病の実態を解明
6月にはアルツハイマー病の脳脊
髄液中ではアミロイドβ蛋白が毒



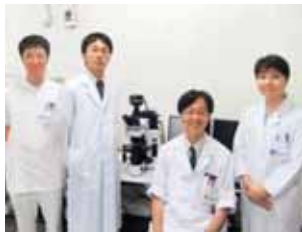
賞状を交わす長野研究・国際担当理事（前列左）

ベトナム・カントー市と「メコン
1000プロジェクト」に関す
る賞状を締結

石川労働局「子育てに優しい企
業」に認定

↓ P.12 に関連記事

文部科学省「大学生の就業力育
成支援事業」に選定
取組名称「社会的・職業的自立力
を培う「金沢就業塾」



山田教授（右から2人目）を中心とする研究グループ

■ 公務員試験

平成22年度国家公務員採用試験
合格者数
I種（行政）7名、II種（行政）101
名、（その他）15名

■ 司法試験

平成22年度新司法試験合格者数
17名



ストーンヘンジ？
ひょっこりあらわれた？

吸い込まれる～

B
インノベーション創成センター前
GPSアンテナ

A
フロンティアサイエンス機構前
通路



UFOの中みたい

田んぼの田？

金大の
不可思議？

D
自然科学系図書館
天井

C
大学会館
外階段

発見！！ 金大おもしろスポット！ KAKUMA CAMPUS

角間キャンパスのあちこちで見られるちょっとハテナ？なもの。
それぞれの場所は本誌P10・11ページでチェック！

「筒井筒 井筒にかけし
まろがたけ♪」
「伊勢物語」和歌より



F
人間社会第2講義棟前
井筒

キャンパスに民家？



G
金沢大学創立五十周年記念館
「角間の里」

宇宙ステーション？

E
自然科学1号館
テクニカルボイド天井

NEWS &

TOPICS 金大のいまがわかる

[ニュース&トピックス]

金沢大学のニュース&トピックスおよびイベント情報は、[金沢大学ホームページ](http://www.kanazawa-u.ac.jp)でご覧いただけます。
<http://www.kanazawa-u.ac.jp>

June 6月

6/5 第59回金沢百万石まつりの「百万石踊り流し」で留学生センターチームが「ハッスル賞」を受賞



6/13 アジア人財育成プロジェクト「茶道体験 お茶会」を開催

6/16 角間キャンパスでラジオ番組を公開生放送



6/16 プリンストン大学等の学生と交流会を実施



6/24 第5回研究所ネットワーク国際シンポジウムを開催

↓ p.8 関連記事

July 7月

7/3 「いしかわ金沢学」夏コース・能楽入門を開催



7/7 附属病院のホスピタルプログラムナードに七夕かざり



7/8 「第1回サウジアラビア・日本大学学長会議」に出席

7/20 学長研究奨励費交付式を実施
16の個人・グループに学長研究奨励費決定通知書が授与されました。

8/5・6 「オープンキャンパス 2010」を開催

2日間で延べ1万人が参加。キャンパスは多くの高校生で賑わいました。初の保護者・高校教員向けプログラム「金沢大学ゆかりの地をたどるバスツアー」も実施されました。



August 8月

8/1～5 台湾国立政治大学学生20名が本学で夏季研修を実施

8/3 北陸地区国立大学連合の4大学長が予算編成方針に対する共同声明文を発表



8/3 「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催

8月3日は理工学域「香りのひみつ」香りの有機分子を作ってみよう
「8月8日は医薬保健学域「身近に感じる血液のしくみを一緒に体験してみよう」をテーマに開催しました。



7/23 「第2回石引よるす保健室セミナー」を開催

↓ p.9 関連記事

9/6～17 本学学生がカンボジアアンコール遺跡公園でインターンシップ

遊歩道の整備や水環境、森林環境の維持管理、交通量調査、観光客向けインフラ整備などの業務に従事しました。



9/6 金沢大学「角間里山本部」を設立

角間キャンパス内の里山ゾーンの保全と21世紀型の活用に向けた、先進的かつ独創的な教育・研究を進めていきます。



8/10 日本学術会議第三部市民公開講演会「宇宙と生命医療の最先端を知る」を開催

8/10 「奥能登スタジアム2010」を開催



8/24 第1回工学部跡地活用検討委員会を開催

8/25 石川県との第2回連携推進会議を開催

8/28・29 「金沢国際がん生物学シンポジウム」を開催

September 9月

9/6 第55回北信越大学空手道選手権大会で男子空手道部が38年ぶりに優勝

9/10 角間キャンパス内で防災訓練を実施

震度6弱の地震が発生したことを想定し、避難訓練や屋内消火栓による放水、消火器を使った初期消火、煙体験、救命(AED)操作体験訓練等が行われました。



9/27 「平成22年9月期金沢大学学位記授与式」を挙行

学部生27名、大学院研究科修士・博士論文審査合格者56名、合計83名の学位記が授与されました。

9/28・29 薬学系企業等説明会を開催
延べ40社のブースが設置され、684名の学生が参加しました。



お気軽にご参加ください EVENT CALENDAR イベントカレンダー

★マークはサークルのイベント ()は開催場所です。
*マークは金沢大学サテライト・プラザで開催します。
特に明記がないものは、金沢大学角間キャンパスで開催します。

11月

November

- ~11 → 資料館写真展「よみがえる城内キャンパス」
(金沢城公園)
- ~12 → 資料館特別展
「前身校の先達たち-四高と医科大の10人-」
- 4 → 国大協大学改革シンポジウム
- 5~7 → 金大祭
- 6 → ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
- 6 → ホームカミングデイ
- 6,7 → 医学展
- 7 → がんプロ市民講座「みんなで考えよう! ベストな医療」
(医学部十全講堂)
- 20 → 中央省庁セミナーin金沢大学
- 26,27 → 第1回金沢大学子どものころサミット
(附属病院宝ホール)
- 27 → 第3回未来開拓研究公開シンポジウム
(東京・KOKUYO HALL)
- 28 → ミニ講演「身体運動と‘あがり’」*

12月

December

- 4 → マンドリンクラブ定期演奏会 (金沢市文化ホール) ★
- 7 → 金沢大学女性研究者支援シンポジウム
- 25 → 吹奏楽団定期演奏会 (金沢歌劇座) ★

2011 1月

January

- 15,16 → 大学入試センター試験
- 22 → フィルハーモニー管弦楽団第71回定期演奏会
(石川県立音楽堂) ★
- 29 → 合唱団定期演奏会 (石川県立音楽堂邦楽ホール) ★

2月

February

- 12 → 宝生会能楽発表会 (石川県立能楽堂) ★
- 25,26 → 一般入試 前期日程

3月

March

- 4 → 附属高等学校卒業式
- 8 → 附属特別支援学校卒業式
- 8 → 前期日程 合格発表
- 9 → 附属幼稚園修了式
- 10 → 附属小学校卒業式
- 11 → 附属中学校卒業式
- 12 → 一般入試 後期日程
- 22 → 後期日程 合格発表
- 22 → 学位記・修了証書授与式
(いしかわ総合スポーツセンター)

4月

April

- 7 → 入学宣誓式 (いしかわ総合スポーツセンター)
- 8 → 附属小学校・中学校・高等学校・
特別支援学校入学式
- 11 → オリエンテーション
- 12 → 附属幼稚園入園式

公開講座

- 11/27,12/4
「現代学校教育考」*
- 1/22
「日本海の水中考古学」*
- 1/26-28
「薬局見学・体験ツアー」
- 1/29-3/26
「細胞診断学演習」

【詳細情報】 http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm

受験生のみなさんを応援する金沢大学サポートコンテンツ

KANAZAWA UNIVERSITY SUPPORT BOXES

最新の入試情報や在学生、卒業生が大学の魅力を
紹介する「Myオハコインタビュー」などコンテンツ
が盛りだくさん!是非ご覧ください。

[http://www.kanazawa-u.ac.jp/
events/10/supportboxes/main.html](http://www.kanazawa-u.ac.jp/events/10/supportboxes/main.html)



SUPPORT BOXES メニューページ



Myオハコインタビュー

金沢大学の最新情報は金沢大学ホームページからご覧いただけます。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>



【表紙写真】
正面階段(角間キャンパス)
「金沢大学中央」でバスを降りると、目の前に広がる大階段。始業前にはここを上がっていくたくさんの学生の姿が見られます。モデルはそれぞれ、第6代ミス加賀友禪とプリンセス・チュエリッパに選ばれた本学学生。
[Acanthus 156c-1]
古代ギリシャ・ローマに由来する植物で、和名を葉薊(ハアザミ)という。金沢大学校章のモチーフとなっていることから、キャンパス内施設に名称が使われるなど、長年にわたり学生や教職員に親しまれている。



K-Dictionary

金沢大学の魅力を230のキーワードから紹介します。

[http://www.kanazawa-u.ac.jp/
k-dictionary/mobile/](http://www.kanazawa-u.ac.jp/k-dictionary/mobile/)



Mobile Site

携帯サイトはこちら!

<http://daigaku.jp/kanazawa-u/>